

静岡市公立小中学校事務職員会（以下、本会とします）の会長を務めさせていただきます静岡市立清水興津中学校の望月和子です。会長に就任した令和3年度は、コロナ禍により学校生活や教育活動が感染状況に大きく左右されていました。徐々に with コロナが浸透し今年5月には5類感染症へ移行されましたが、引き続き注視していく必要があります。

さて、本会は旧静岡市と旧清水市が合併した平成15年4月の発足から20年の節目を過ぎました。私は、21年目の今年度は新たなスタートの年だと認識しています。

令和5年4月1日、静岡市は、市民（子ども、保護者、地域社会）からの要求、要望に応える学校を実現するため、静岡市全体の事務部門を強化することを目的に、市内6カ所に共同学校事務室を設置しました。同時に共同学校事務室長は新たな管理職員となりました。政令市に移行した平成17年度から始まった「静岡市の共同実施体制」を「共同学校事務室体制」へ転換し、新たな事務処理体制の構築を目指しているのです。

すでに実施されている静岡型小中一貫教育では「小学校と中学校（たてのつながり）」と「学校と地域（よこのつながり）」を軸に、予測困難な時代を切り拓くために必要な「つながる力」（社会的な絆）を育成しています。本会でも、学校事務職員の「つながる力」を一層強化し、会員一人一人がともに主体となって学習し、考えを深め合い、自らの手で未来を創造していく気概を持ちたいと考えています。

本会は活動の中心を「研究」におき、「子どもの豊かな育ちを実現すること」をミッションとして取り組みを続けてまいりました。これは、保護者、地域社会の願いでもあります。変化する社会において、私たちは「学校事務職員の専門性と役割」についても柔軟に見極めることが大切です。それには、まず“教育職員が担う児童生徒への直接的な指導業務以外は全て「学校事務」ととらえる”という学校事務観と、“学校経営は、事務職員の役割である”という職務意識を統一しなくてはなりません。

世代交代の激しい中で、本会の組織力強化を一層進めたいと思います。また同時に、教育委員会、校長会及び教頭会等との連携・情報の共有を図りながら、共同学校事務室による新たな体制との「つながり」を最大限に活用して、子どもたちの幸せにかかわっていきたいと思います。

1年間、どうぞよろしく願いいたします。



令和5年7月吉日

静岡市公立小中学校事務職員会 会長 望月和子